



区画貫通部防火措置キット

ラクパッド®

取扱説明書

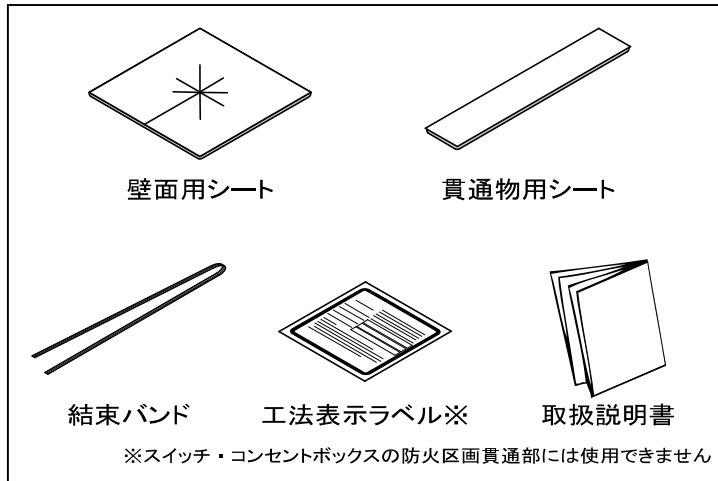
国土交通大臣認定番号

PS060WL-1130、1131、1131-1、1131-2、1148、1190

(一財)日本消防設備安全センター認定番号

KK2021-007号

構成材料



※スイッチ・コンセントボックスの防火区画貫通部には使用できません

このたびは、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本取扱説明書および国土交通大臣認定書、(一財)日本消防設備安全センター認定書をよくお読みの上、現場の状況に合わせて正しく施工してください。

使用上の注意事項

【警告】

- スイッチ・コンセントボックスの防火区画貫通部に適用する場合は本製品の他に「BOXシートラクパッド用」が必要になります。別途お問い合わせください。
- 不適切な材料の使用や補修を行わないでください。十分な耐火性能を得ることができません。

【注意】

- 製品を取り扱いの際には保護手袋および保護めがね等を着用してください。

【使用上のご注意】

- 直接水のかかるところや高温多湿の環境下でのご使用はおやめください。
- 本製品は屋内用です。屋外もしくはそれに準じた環境下でのご使用はおやめください。
- 防水性能はありません。必要な場合は別途、防水処理をしてください。
- ケーブル、配管の支持機能はありません。別途、支持してください。
- 開口部は壁面用シートどうしが干渉しないように設置してください。(開口どうしの距離 100mm 以上推奨)
- コアドリルを用いる際、下表とP2～P3に記載している表の開口寸法になるように選定してください。
- 余ったシートは必ず包装紙で包み、梱包箱に入れて保管してください。
- 「共住区画」の貫通部にご使用の場合は、(一財)日本消防設備安全センターの規定により、消防評価プレートの貼り付けが必要となります。なお、消防法施行令第8条に関わる「令8区画」に施工できません。
- 工法表示ラベルや消防評価プレートは、弊社ホームページから請求できます。

製品仕様

品番	適合 開口径	構成材料				
		壁面用シート	貫通物用シート	結束バンド	工法表示ラベル	取扱説明書
RPA30	φ 30.5	63×63mm 20枚	133×38mm 20枚	180mm 20本	10枚	1枚
RPA50	φ 50	83×83mm 20枚	203×38mm 20枚	240mm 20本	10枚	

国土交通大臣認定

国土交通大臣認定番号		PS060WL-1130	PS060WL-1131-2(-1)	PS060WL-1148
壁構造	鉄筋コンクリート (RC、SRC) 壁 軽量気泡コンクリート (ALC 壁)	中空壁	片壁	化粧板付片壁 (FP060NP-0071)
	厚さ 60mm 以上		厚さ 42mm 以上	厚さ 99.5mm 以上
施工図				
施工条件	開口径	φ 50 以下		
	占積率	100% 以下		
	開口補強枠	無し		
貫通物条件 (最大サイズ) ※	ケーブル	600V 38mm ² / 本以下 総合計：114mm ² 以下		
	合成樹脂製 可とう電線管	PF・CD 管呼び 36 以下		

※ケーブルとPF・CD管を混在して通すことはできません。PF・CD管を複数管通すことはできません。

本製品を適用するためには、P1～P2記載の認定・評定条件を満たす必要があります。この認定・評定条件に満たない場合、十分な耐火性能を得ることができません。貫通物条件など認定・評定条件の詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。

(一財) 日本消防設備安全センター 認定

(一財) 日本消防設備安全センター 認定		KK2021-007 号		貫通物条件 (貫通物の適用 種類および 通線本数：1 開口 あたり)	ケース 1 (管内貫通物)	PF管呼び 36 以下 × 1 本以下
壁構造 (共住区画の壁)		中空壁※ 厚さ 100mm 以上				600V VVF: 2.0mm × 3C 以下 × 2 本以下 消防用耐熱電線HP 1.2mm — 5P 以下 × 3 本以下 消防用警報用電線AE 1.2mm — 5P 以下 × 3 本以下 消防用電線EMFP 1.2mm — 3(平型) × 1 本以下
					ケース 2 (管内貫通物)	PF管呼び 36 以下 × 1 本以下 同軸ケーブルS-7C-FB × 1 本以下 通信用ケーブルFCPEV0.9mm × 1P以下 × 3 本以下 通信用ケーブルOKTP-E5-0.5 × 4P以下 × 2 本以下 光ファイバーケーブル外径 9.0mm 以下 × 1 本以下 電話ケーブルICT0.5mm × 2P 以下 × 1 本以下 キャブタイヤケーブルVCTF0.75 × 3C 以下 × 3 本以下
ケース 3 (管内貫通物)	CD管呼び 36 以下 × 1 本以下 同軸ケーブルS-7C-FB × 1 本以下 通信用ケーブルFCPEV0.9mm × 1P以下 × 3 本以下 通信用ケーブルOKTP-E5-0.5 × 4P以下 × 2 本以下 光ファイバーケーブル外径 9.0mm 以下 × 1 本以下 電話ケーブルICT0.5mm × 2P 以下 × 1 本以下 キャブタイヤケーブルVCTF0.75 × 3C 以下 × 3 本以下					
	ケース 4	600V CVT22mm² 以下 × 1 条以下 600V IV8mm² 以下 × 1 本以下				
施工図						
施工条件	開口径	φ 50 以下				
	開口補強枠	無し				

※両面強化せっこうボード 12.5mm 厚2枚張り構造

施工手順

※シートには黒色のフィルムが貼り付けてありますが、施工時にははがしてご使用ください。
※PF管、CD管を貫通する場合は複数管通すことはできません。
※PF管、CD管とケーブルを混在して通すことはできません。

1. 施工対象の確認

- 壁の構造と開口径、配管・ケーブルの種類が認定・評定書の通りであることを確認してください。
- 開口部の周囲を清掃してください。

2. 壁面用シートの貼り付け

- 壁面用シートの中心から端までの切込み部分を貫通物の下側にしてください。
- 壁面用シートの切込み部分は貫通物に沿わせてください。
- 壁面用シートは開口の端から10mm以上壁面に重ね合わせて貼り付け、留付材(ビス、タッカー)等で壁面用シートの四隅を壁面に固定してください。
- 壁面用シート貼り付け後、隙間がないようにしてください。
- 壁面用シートの貼り合わせ部分に隙間が生じないようにしてください。

3. 貫通物用シートの巻き付け

- 貫通物に沿わせた壁面用シートの切込み部分を覆うように貫通物用シートを1周以上巻き付けてください。
- 巻き付けた貫通物用シートを結束バンドでしっかりと固定してください。
- 結束バンドは貫通物用シート幅の中心よりも壁面側の位置に巻き付けてください。

※ 結束バンドを紛失した場合は、市販の針金(φ0.8mm以上推奨)を使用してください。

4. 施工完了

- 手順2、手順3で壁の両側に施工してください。
- 施工後に壁面用シートの固定と貫通物用シートの巻き付け状況を確認し、隙間の生じないように整えて施工完了です。
- 必要に応じて施工箇所の容易に分かる位置に工法表示ラベルを貼り付けてください。

※ 壁面用シートを貼り付け後、および貫通物用シート巻き付け後、隙間がある場合はアルミテープで補修してください。

※ 「共住区画」の貫通部にご使用の場合は、弊社ホームページから消防プレートのご請求をお願い致します。

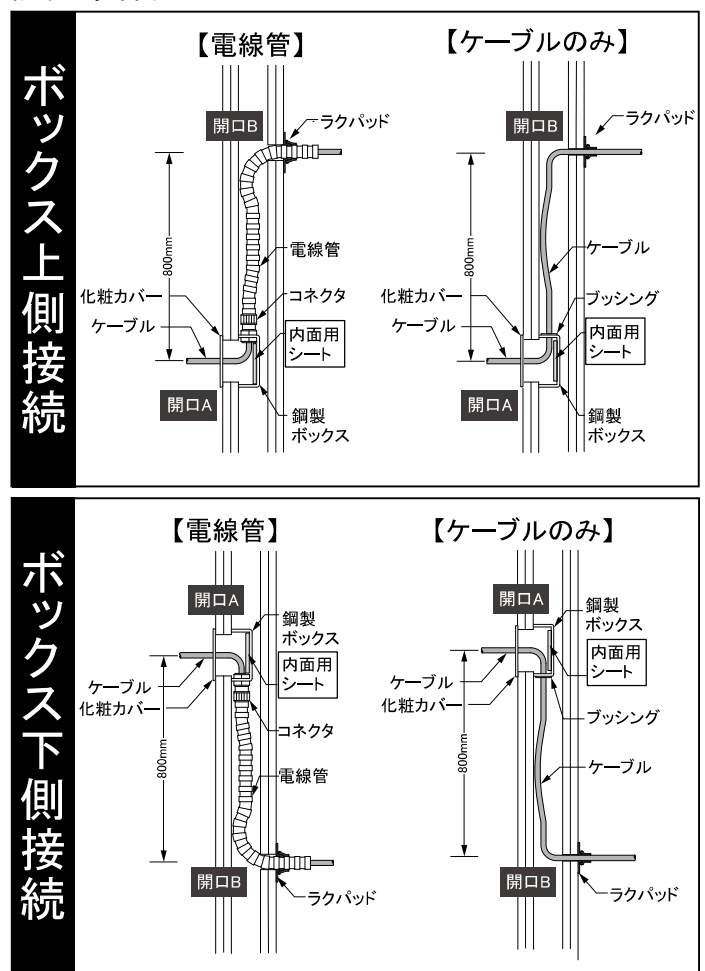
国土交通大臣認定（スイッチコンセント・ボックス）

本製品と別売品の「BOXシート ラクパッド用」を組み合わせることで中空壁に設置された鋼製のスイッチ・コンセントボックスの防火区画貫通部に適用することができます。下記の認定条件および認定条件図を基本としますが、実際の現場ではこれらと異なる場合があります。その場合には当該建築物の確認検査機関もしくは所轄行政機関にご相談ください。

国土交通大臣認定番号			PS060WL-1190
壁構造			建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁構造(60分)又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく壁構造(60分)
			厚さ109mm以上
施工条件	開口 A (鋼製ボックス側)	寸法	矩形：290×100mm 以下
		占積率	44.8% (鋼製ボックス貫通孔の面積に対するケーブル断面積の総合計の割合)
	開口 B (電線管・ケーブル出口側)	寸法	矩形：200×50mm 以下 円形：φ 50mm 以下
	鋼製ボックス	寸法	320(±2)×117(±2)×54(±2)mm 以下 (6 個用以下)
(貫通物条件) (最大サイズ)	ケーブル	600V 22mm ² / 本以下 総合計：117.1mm ² 以下	
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD 管呼び 28 以下	

※ケーブルとPF・CD管を混在して通すことができます。

認定条件図



開口 A 施工手順（ボックス側）

※開口Aに施工する内面用シートは本製品に同梱しておりません。別途「BOXシート ラクパッド用」をお買い求めください。

■用意するもの

●別売品「BOXシート ラクパッド用」

1 個用ボックスには、内面用シートをボックス内面の大きさに切断してご使用ください。
また4～6 個用ボックスには内面用シート 2 枚以上使用し、ボックス内面の大きさに合わせて所定の位置に貼り付けてください。

※以下は本製品および「BOXシート ラクパッド用」に付属していません。

鋼製ボックス
(1～6 個用に対応)

塗代カバー
(各種対応しています)

以下は任意で使用できます。
電線管用コネクタ

ケーブルブッシング(各種)

■2 個用ボックスの施工例

(ボックスを壁面に取り付ける前の例)

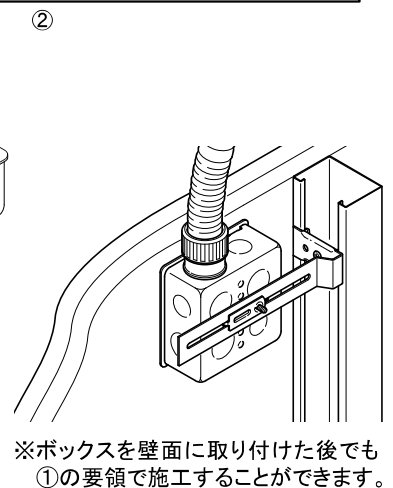
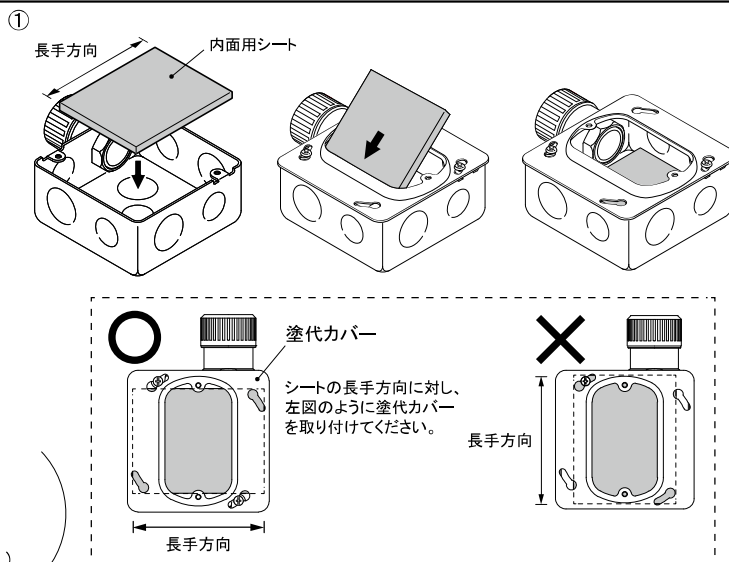
- ① 内面用シートの剥離紙をはがし、ボックス内面に貼ってください。

内面用シートは柔らかくて曲がるので、塗代カバーを取り付けた後でも貼ることができます。
(透明のフィルムは付いたままご使用ください。)

- ② ボックスを壁面に取り付けて、必要に応じて施工箇所付近の容易に分かる位置に「BOXシート ラクパッド用」同梱の工法表示ラベルを貼り付けて、施工完了です。

塗代カバーは各種対応しています。

- ・13ミリカバー
 - ・5ミリカバー
 - ・平カバー
 - ・1～6 個用までの各サイズ
- (上記いずれも樹脂製は使用できません。)



※ボックスを壁面に取り付けた後も①の要領で施工することができます。

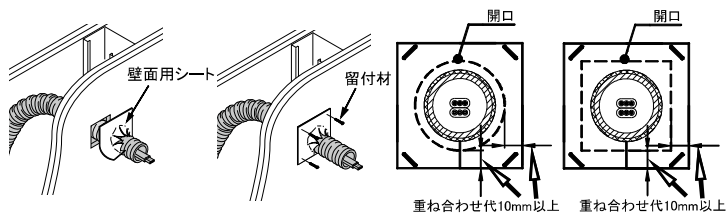
開口 B 施工手順（電線管・ケーブル出口側）PS060WL-1190 の場合

① 施工部の確認

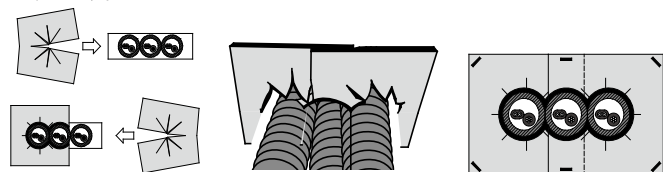
- 開口部の寸法、壁構造などが条件に適していることを確認してください。

② 壁面用シートの貼り付け

- 壁面用シート裏面の剥離紙を剥がし、中心から端までの切り込み部分を貫通物の下側に貼り付け、切り込み部分を貫通物に沿わせて壁面へ貼り付けます。
- ※壁面用シートの貼り合わせ部分に隙間を生じないようにしてください。
- 開口端から10mm以上重ね合わせて貼り付け、四隅をコンクリートねじ(M4以上)またはタッカーで固定してください。



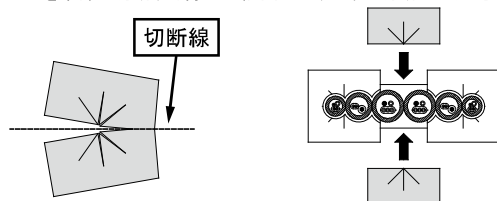
- 開口が矩形(200×50以下)の場合、2枚あるいは3枚で突き当て、重ね合わせで施工を行います。



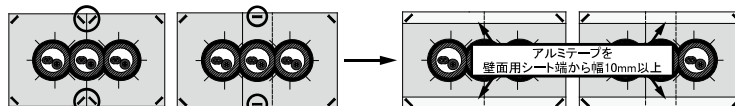
左右から壁面用シートを貼る 切り込み部分は貫通物に沿わせる 壁面用シートを留付材で固定する

壁面用シート2枚を使用した施工例

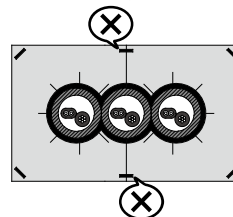
- ※壁面用シートは半分に切断して使用できます。
- 壁面用シートを半部に切断する際は下記図に示すように切断してください。



※シート四隅を固定できない場合、アルミテープで貼り付けて施工を行ってください。

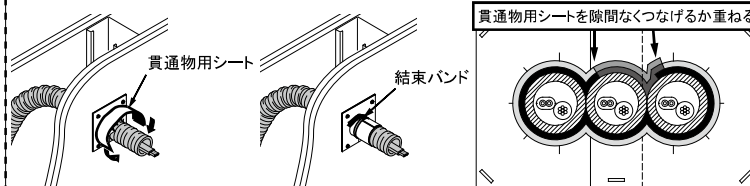


※タッカーを使用する場合は以下の図のように壁面用シートどうしをまたぐように固定しないでください。



③ 貫通物用シートの巻き付け

- 貫通物用シートの剥離紙を剥がし、図のように貫通物に沿わせて切込み部分を覆うように1周以上巻き付けてください。巻き付けた貫通物用シートを結束バンドでしっかりと固定してください。結束バンドは貫通物用シートの幅の中心よりも壁面側の位置に巻き付けてください。
- 開口が矩形(200×50以下)の場合、2枚あるいは3枚を使用してまとめて巻き付けてください。その際は、結束バンドはつなぎ合わせて使用して構いません。



- ※結束バンドを紛失した場合は、市販の針金(φ0.8mm以上推奨)を使用してください。
- ※壁面用シート貼り付け後、および貫通物用シート巻き付け後、隙間がある場合にはアルミテープで補修してください。

④ 施工完了

- 必要に応じて施工箇所付近の容易に分かる位置に工法表示ラベルを貼り付けて施工完了です。

※本製品に同梱している工法表示ラベルはスイッチ・コンセントボックスの防火区画貫通部には使用できません。「BOXシートラックバンド用」同梱の工法表示ラベルを使用してください。

消防評価プレート請求書

宛) 古河電工パワーシステムズ(株) 消防評価プレート発行担当者

FAX: 0463-24-9346

本取扱説明書に従い、正しく施工しましたので、以下のとおり消防評価プレートを請求します。

請求責任者	会社名・部署名		
	担当者氏名		
	TEL / FAX	() / ()	
	送付先住所	〒	
施工場所	工事件名		
	建物用途(棟数)		
	貫通部箇所	□住戸等-住戸等間 □住戸等-共用部間 □共用部-共用部間 (必ずいずれかにチェックください。)	
	所在地	〒	
	建築物の総面積		
請求内容	販売代理店名		
	(一財)日本消防設備安全センター評価番号(消防評価プレート)	KK2021-007号	枚
	必要期日	月 日 ※ご希望の期日に届けられない場合がございますので、あらかじめご了承ください。	

- 消防評価プレートは、特定共同住宅一棟あたり1枚となります。なお、消防評価プレートのご請求の際には、区画種別などの現場状況確認のため、弊社からご連絡を差し上げる場合があります。あらかじめご了承のほどお願い致します。
- (一財)日本消防設備安全センター評価外への消防評価プレートの発行は致しません。
- ご記入頂いた個人情報は、消防評価プレート・工法表示ラベルの送付、施行確認等のご連絡および当社の製品・技術情報をお送りするために利用し、その目的以外での利用は致しません。

技術事項のご相談・お問い合わせは

古河電工パワーシステムズ

TEL : (0463)24-9341 FAX : (0463)24-9346

URL : <https://www.feps.co.jp/>